### PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number:

11-331662

(43) Date of publication of application: 30.11.1999

(51)Int.CI.

HO4N 5/225

(21)Application number: 10-138928

(71)Applicant : FUJI PHOTO FILM CO LTD

(22)Date of filing:

20.05.1998

(72)Inventor: NAKAO SOICHIRO

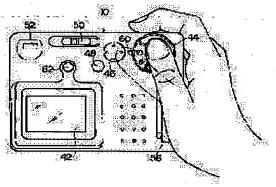
HAYASHIDA TAKAYUKI

#### (54) PORTABLE ELECTRONIC DEVICE

#### (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a portable electronic device where a number of operation functions are integrated in a small space and which is simply operated by one hand.

SOLUTION: A mode dial 44 is placed at a position where the thumb of the right hand gripping the right side grip section of a main body is naturally placed when viewing an electronic camera 10 from a rear side, and cross key 46 is placed at the left side of the mode dial 44. The cross key 46 is used as an operation key to select various mode setting items and to instruct revision of setting contents. Then a menu/execution key 48 to confirm items and setting contents selected/revised by the cross key 46 is provided at the lower left part in the vicinity of the cross key 46. Through the configuration above, desired operations are entered with a motion of fingers eliminating much of waste along with an operation flow.



(19) 日本国格群庁 (JP)

€ 翐 4 盐 华 噩 4 (12)

(11)特許出顧公開番号

特開平11-331662

(43)公開日 平成11年(1999)11月30日

**類択したモードの下で所望の項目を選択し、又は所望の** 指示入力を行う操作部であって、上下左右の4方向へ傾

到自在なボタン部材から成る十字キー操作部と、を備え **数器本体の一部を把持する手の親指によって操作可能な** 

た携帯型電子機器におい-

【酢水項1】 複数のモードのうちから1のモードを選 Rするためのダイヤル操作部と、前記ダイヤル操作部で

特許的水の範囲】

F1 H04N **使**別記号

5/225

5/225

H04N

(51) Int.C.

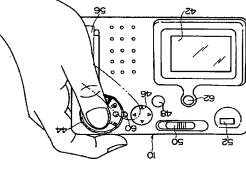
# 審査請求 未請求 請求項の数4 〇L (全 7 頁)

(21) 出版器号	<b>特</b> 閣平10-138928	(71)田町人 000005201	000005201
(22) 州東日	平成10年(1998) 5月20日		富士写真フイルム株式会社 神奈川県南足柄市中昭210番地
		(72) 発明者	中局 宗一郎 精玉県朝腹市泉水3丁目11番46号 富士写
		(72)発明者	真フイルム株式会社内 林田 強之
			埼玉県朝霞市泉水3丁目11番46号 富士写 東フイルム棒子会社の
٠		(74) 代理人	
	ij		
•	5		

## 携带型電子機器 (54) [発明の名称]

(57) [要約]

【課題】小さいスペースに、より多くの操作機能を集約 し、片手で簡単に操作できる携帯型電子機器を提供す 【解決手段】電子カメラ10を背面側から見て、本体右 を確定する為のメニュー/実行キー48が十字キー46 の近傍左下部に設けられる。かかる構成により、操作の **流れに沿って右から左へと無駄のない指の助きで所望の** 則のグリップ部を把持した右手の親指が自然に位置する 場所にモードダイヤル44が設けられ、モードダイヤル そして、十字キー46で選択/変更した項目や設定内容 44の左横には十字キー46が配置される。十字キー4 6は、モード等の設定における各種設定項目の遺択や、 **設定内容の変更を指示する操作キーとして使用される。** 操作入力ができる。



[000]

【発明の詳細な説明】

[発明の属する技術分野] 本発明は電子カメラなどの携 **帯型電子機器に係り、特に機器本体に設けられる操作部** の構成及びその配置構造に関する。

[0002]

は回転ダイヤルなどが用いられている。これら多様な形 類器の操作部には、押しボタン、スライドつまみ、或い 歌のうちから、どのような操作部材を採用し、それらを 【従来の技術】電子カメラや電子ブックなど携帯型電子 **類器本体上に如何に配置するかによって電子機器の大き** さや操作性(使い易さ)が大きく左右される。

(0003)

(発明が解決しようとする課題)特に、近時電子機器の 猫みてなされたもので、小さいスペースに、より多くの スの確保や操作性の向上が製品開発において重要な要素 を占めるようになっている。本発明はこのような事情に 操作機能を集約し、片手で簡単に操作できる携帯型電子 - 퉘の小型化、多機能化に伴って、操作部の配置スペー **類器を提供することを目的とする。** 

特開平11-331662

3

型電子機器において、機器本体の一部を把持する手の親 旨によって操作可能な位置に前記ダイヤル操作部を設け ると共に、該ダイヤル操作部の周囲近傍であって前記親 皆によって操作可能な所定の位置に前配十字キー操作部 5為に、複数のモードのうちから1のモードを選択する とめのダイヤル操作部と、前記ダイヤル操作部で選択し たモードの下で所望の項目を選択し、又は所望の動作指 示を行う操作部であって、上下左右の4 方向へ傾倒自在 なボタン部材から成る十字キー操作部と、を備えた携帯 【課題を解決する為の手段】本発明は前配目的を達成す を設けたことを特徴とする。

유

操作部の周囲近傍であって前記親指によって操作可能な

**带型電子機器**。

位置に前記ダイヤル操作部を設けると共に、該ダイヤル 位置に前配十字キー操作部を設けたことを特徴とする携 【間求項2】 前記十字キー操作部で選択した内容を確 **定する実行ポタンを、前記親指によって操作可能な位置** であって前記前記十字キー操作部を挟んで前記ダイヤル 操作部と反対側に設けたことを特徴とする請求項 1 記載 【翻求項3】 前記ダイヤル操作部の上面中心部に凹部 を形成し、散ダイヤル操作手段を操作しないときに前記 イヤル操作部を指置き部として兼用するようにしたこと 【開求項4】 前記携帯型電子機器は、画像光を電気信 母に変換する撮像手段と、前配攝像手段で撮影された画 と共に、前記カード状記録媒体からデータを読み出す読 カード状記録媒体から読み出された画像を表示する平面

操作部で選択した内容を確定する実行ボタンを、前記親 指によって操作可能な位置であって前記十字キー操作部 り、ダイヤル操作部によるモード選択をし、そのモード 【0005】本発明によれば、機器を把持した片手の親 旨でダイヤル操作部を回転操作することでモードを選択 することができ、また、ダイヤル操作部から親指の位置 上記構成に加え、請求項2に記載の如く、前記十字キー を挟んで前記ダイヤル操作部と反対側に設けることが好 ましい。このよろに、ダイヤル操作部から、十字キー操 これを実行ボタンで確定するという具合に操作の流れに **従って無駄の無い動きにより一連の操作を行うことがで** をずらすだけで、十字キー操作部を簡単に操作できる。 Fで更に詳細な設定を十字キー操作部から選択入力し、 作部、及び実行ボタンを頃に並べて配置したことによ

20

凹部に親指を安定して聞いておくことができるようにダ

の携帯型電子機

を特徴とする請求項1、又は2記載の携帯型電子機器。

操作部の上面中心部に凹部を形成し、散ダイヤル操作部 [0006] 贈求項3に記載した発明は、前記ダイヤル を操作しないときに前配凹部に親指を安定して置いてお 兼用するようにしたことを特徴としている。かかる態様 によれば、指置き部としてのスペースを特別に確保する た時の安定畷もあり、ホールド脇に優れるという利点が くことができるようにダイヤル操作部を指置き部として 必要が無く、また、ダイヤル中心部の凹部に親指を置い

8

み書き手段と、前配撮像手段で撮影された画像又は前記

**表示手段と、を備えた電子カメラであることを特徴とす** 

る間求項1、2又は3記載の携帯型電子機器。

象を示す画像データを前配カード状配録媒体に配録する

[0007] 例えば、上近した請求項1、2又は3に係 る発明の具体的な一艘様として、 請求項4 に記載の如

記録媒体に記録すると共に、前記カード状記録媒体から データを読み出す読み書き手段と、前記撮像手段で撮影 手段で撮影された画像を示す画像データを前配カード状 く、画像光を電気信号に変換する撮像手段と、前記撮像 された画像又は前配カード状配録媒体から読み出された 国像を表示する平面表示手段と、を備えた電子カメラに 商用することができる。 <del></del>

[0008]

[発明の実施の形態] 以下添付図面に従って本発明に係 る。図1には本発明を電子カメラに適用した例が示され **る携帯型電子機器の好ましい実施の形態について詳説す** ている。同図に示したように、この電子カメラ10は、 路

路直方体形状の外装ケーシング12 (キャビネット)を バダ式ファインダーが採用されると共に、撮影レンズと せぬCCD(撮像紫子)が配置される。CCDの画素数 は、希望する画質との関係で適正なものを選択する必要 有し、本体14正面右側にファインダー窓18及び撮影 レンズ18が上下に並んで配置されている。ファインダ ーやレンズは種々の形態が可能であるが、例えば、アル してf=4mm程度の単焦点レンズが用いられる。そし て、撮影レンズ18の後方には撮像手段に相当する図示 があるが、35万画素以上のものが好ましい。

[0009]ファインダー窓16及び撮影レンズ18の 前面には上下方向にスライド自在なレンズカバー20が **設けられており、本体14上面に設けられたカバー開放** ボタン22を押すことにより図示せぬ係止機構の係止が 解除され、レンズカバー20がバネ等の付勢手段の付勢 方にスライドさせてファインダー窓16及び撮影レンズ 18の前面を覆う。レンズカバー20を完全に閉じると 力によって下方にスライドする。こうして、ファインダ **一窓16及び撮影レンズ18の前面が開放され撮影可能** な状態となる。また、携帯時にはレンズカバー20を上 前記係止機構によってレンズカバー20が閉状態で保持 され、ファインダー窓16及び撮影レンズ18を保護で

AEをロックし、「全押し」の時に撮影開始信号が発せ 【0010】図1上で本体14の左部は、撮影者が右手 でカメラを保持し易いようにグリップ部2 4 が形成され ると共に、本体14上面にレリーズボタン26が設けら **れる。レリーズボタン26は2段階押し込み式に構成さ** れており、いわゆる「半押し」の状骸で自動ピント合わ せ(AF)及び自動露出制御(AE)が作動してAFと られ撮影が実行される。

[0011]また、本体14正面略中央の上部にストロ の手がストロボ28に触れ難く、撮影者が誤ってストロ ボ28が設けられ、その下方にストロボ調光センサ30 及びセルフタイマーランプ32が並んで配置される。図 1のようにストロボ28をグリッブ部24よりも中央奇 りに配置したことで、グリップ部24を把持する撮影者 ポ28を手で覆ったまま撮影してしまうのを防止するこ

イドさせることで近距離撮影、又は遠距離撮影に適した 撮影距離設定ツマミであり、該ツマミを上下方向にスラ 光学系を選択できる。この撮影距離設定ツマミ30以外 にも、カメラ右側面にはデジタル入出力端子32、画像 出力 (VIDEO OUT ) 端子34、電源入力 (DC IN 5 V) [0012]本体14右側面上部に示した符合30は、 端子36が散けられている。

38を閉状態で維持する係止機構 (不図示)の係止が解 [0013] 電池蓋38は、本体14の底面部に図示せ **めヒンジ機構によって開閉自在に設けられている。電池** 蓋38を図1上で手前側にスライドさせると、 抜電池蓋

電池蓋38が係止機構により閉状態で保持され、電池の 除され、電池蓋38が下方向に開かれる。図2に示すよ 5に、電池収納部40は、略円柱状の電池(例えば、単 3型乾電池、図2中不図示)4本をそれぞれ縦向き(長 **手方向をカメラの上下方向に沿わせた向き)の状態で平 酎的に横一列に並べて収納する形態を有している。4本** の電池をカメラの下方からこの電池収納部40に挿入し **模填が完了する。なお、図2中符合40Aは電池収納部** と後、電池蓋38を開放時と逆の手順で閉じることで、 400支柱、41は三脚ネジである。

体の形態はこれに限らず、PCカード、フラッシュメモ ·ディスク (MO)等、カード形状を有した種々の形態が **【0014】図3は、図1に示した電子カメラ10の臂** 2 (平板状表示手段)、モードダイヤル44、十字キー (上/下キー及び左/右キー) 46、メニュー/実行キ -48、電源スイッチ50、並びにファインダー接眼部 (覗き窓) 52等が散けられる。また、図3上で本体1 |右側面(グリップ部24と同じ側)には、外部配縁媒 本に相当する図示せぬメモリーカード(例えば、スマー トメディア)を押脱するためのカードコネクタ54の神 入口54Aが形成されている。本例の電子カメラ10で は、画像データを記録する媒体としてスマートメディア (イメージメモリーカード) を使用しているが、記録媒 リーカード、I Cカード、フロッピーディスク、光磁気 面側斜視図である。カメラの背面には、液晶モニター4 可能である。

スマートメディアを撮影レンズ18の光軸に対して直交 する面内に沿って樟脱できるように、挿入口54Aの長 手方向を梃方向に向けて配設されている。符合56は神 A□54Aを覆うカードカバーであり、このカードカバ -5 6 はヒンジ機構を介して開閉自在となっている。カ ードつまみ58を図3上で下方向にスライドさせると係 合手段 (不図示) の係止が外れてカードカバー5 6 が関 **放される。また、カードカバー58を閉じると前配係合** [0016]液晶モニター42は、撮像系 (撮影レンズ 18及びCCD)を介して撮影した画像や、カードコネ クタ54に挿入されたスマートメディアから読み出した 画像情報等を表示する手段であり、例えば、2インチ低 **温ポリシリコン液晶モニターが用いられる。液晶モニタ** ー42は、カメラの背面側から見て前記カードコネクタ 54の左横に配置されており、両者は奥行き方向につい て重なる部分を有することなく、左右に並んでメイン基 は、図3に示したようにグリップ部24から離れた左下 [0015] 電子カメラ10のカードコネクタ54は、 手段によってカードカバー56が閉状態に保持される。 坂上に支持されている。その結果、液晶モニター42 \$

隅、即ち、図3上でカメラ右部のグリップ部24を把持 【0017】モードダイヤル44は、カメラ背面の右上 した右手の親指が自然に位置する場所に設けられる。と

S

カメラの機能(モード)を変更する操作手段であり、例 ップ (SETUP)」、「セルフタイマー」、「マニュ のモードダイヤル44は、ダイヤルの設定位置によって えば、周方向に沿ってクリック停止位置毎に「セットア 「画像保護 (プロテクト)」、「パンコン (PC) 接 アル撮彫」、「オート撮影」、「再生」、「消去」、

続」の8つのモードを示す配号又は文字が順に形成され

[0018] このモードダイヤル44を図3上で時計回 り方向又は反時計回り方向に回動操作して、上記8段階 ドダイヤル44の中央部は僅かな窪み(凹部)44Aが 形成されており、酸ダイヤルを操作しないときに親指を 5。このようにモードダイヤル44を指置き部として兼 確保する必要が無くなるとともに、親指を置いた時の安 のモードのうち、所望の機能を表す記号又は文字を指標 60に合わせることによりモード散定が行われる。モー Cのダイアル中央部 (44A) に置いておくことができ 用することにより、指置き部としてのスペースを特別に 定感もあり、ホールド感に優れるという利点がある。

や、設定内容の変更を指示する操作キーとして使用され るとともに、電子ズームの倍率調整、ズーム中心の移動 6 が配置される。十字キー46は、上下左右の直交する 4 方向に傾倒自在な操作キーであって、中央部が凹んだ [0019]モードダイヤル44の左横には十字キー4 国形の形状を有し、<br />
外国榛部から中央の平坦部に<br />
向かっ 斜面部に上下左右の4方向の操作の方向を示す三角マー ケが形成されている。上下左右の4方向を示す三角マー クのうち何れかのマークの近傍を押圧することによって 左)の指示を入力できるようになっている。この十字キ - 46は、モード等の設定における各種設定項目の選択 指示、再生コマの送り/戻しを指示する手段として用い 十字キー48が傾いて、対応する4方向(上、下、右、

-48は、十字キー46で選択/変更した項目や設定内 数けられ、この表示キー62を1回押す毎に液晶モニタ た、液晶モニター42の上辺中央部には表示キー62が -50の点灯(ON)/消灯(OFF)が切り替わるよ ろになっている。撮影モードで表示キー62を押して液 晶モニタをONすると、撮像系が捉えた映像(スルー動 画)が画面に表示され、撮影者はこの表示を見ながら構 【0020】十字キー46の近傍左下部に設けられた符 合48はメニュー/実行キーである。メニュー/実行キ 容を確定したり、各種散定の項目の一覧を示すメニュー 画面を表示させるための操作キーとして用いられる。ま

作部は全て、グリップ部を把持する右手の親指で操作で [0021]次に、上記の如く構成された電子カメラの 作用について説明する。図4に示すよろに、本実施の形 や十字キー46など、カメラ背面に散けられている各類 際に係る電子カメラ10において、モードダイヤル44

特開平11-331662

Ŧ

る。特に、モードダイヤル44、十字キー46、及びメ きる位置に配置されており、片手操作が可能となってい ニュー/実行キー48は、操作の流れに沿って右から左 へと無駄のない指の動きで所望の操作入力ができるよう [0022]図4に示したように撮影者がカメラのグリ ップ部24を右手で把持し、電源スイッチ50を図4上 2 にオーブニング画面が表示される。尚、電源スイッチ 50から指を離したとき、電源スイッチ50は図示せぬ 付勢手段の付勢力によって元の位置に戻るようになって で右方向にスライドさせて指を離すと、液晶モニター4

画面が表示される。その後、撮影者は十字キー46の上 **/下キーを操作して、セットアップ画面から変更したい** 項目を選択し、 左/右キーで設定内容を変更して所望の [0023] 続いて、モードダイヤル44を回して希望 トるモードに合わせる。モードダイヤル44を「SET JP」に合わせると、液晶モニター42にセットアップ 散定入力を行う。

なる。モードダイヤル44をセルフタイマーの位置に合 わせると、液晶モニター42に「セルフタイマー」表示 メラ前面のセルフタイマーランブ32が点滅して約10 【0024】 十字キー46の左/右キーを押す毎に設定 イニュー/実行キー48を押すか、あるいは、モードダ イヤル44を他のモードに切り換える。セルフタイマー 撮彫モードは、約10秒のセルフタイマー撮影が可能に が現れる。 構図を決めてレリーズボタン26を半押しす ると、AE及びAFが作動し、ピント及び露出合わせが 完了すると液晶モニター42に「スタンパイ」表示が現 れる。その後、レリーズボタン26を全押しすると、カ 内容が切り替わり、所望の設定内容が表示されたら左/ 右キーの押圧を止める。そして、設定を決定するには、 **妙後に撮影が実行される。** 

【0025】マニュアル撮影モードは、撮像系が捉えた メディアに記録するか記録しないかを選択できるモード である。また、このモード下では、更に、白バランス設 及び連続撮影(マルチREC)設定が可能である。モー 各種設定の項目がモニタ上に一覧表示される。撮影者は | 字キー46の左/右キーで項目を選択し、上/下キー C設定内容を変更した後、メニュー/実行キー4 8 でそ **の散定を確定するようになっている。なお、散定入力の** 8中でメニュー/実行キー48を押すと元のメニュー画 国像を液晶モニター42で確認し、その画像をスマー **定、明るさ設定(靍出補正)、ストロボの明るさ設定、** ドダイヤル44をマニュアル撮影モードに合わせると、

[0026]また、このマニュアル撮影モード下で、表 前の動画(いわゆるスルー動画)が表示される。撮影者 が、この表示を見ながら構図を決定し、所望の構図を得 示キー62を押すと、液晶モニター42に撮影 (記録) ន

**てレリーズボタン26を半押しすると、カメラが自動的** 備が完了(AF、AE完了)すると、液晶モニター42 にピント合わせ及び露出を合わせ行う。そして、撮影増 に「スタンパイ」表示が現れる。

ព スルー動画に戻る。一方、プレビュー画に表示した画像 【0027】その後、レリーズボタン28を全押しする と、液晶モニター42の画面が静止(フリーズ)し、ブ **レアュー画 (撮影された静止画) が表示される。 Cのブ** レビュー画の画像データをスマートメディアに記録しな のデータをスマートメディアに記録する場合には、メニ ュー/実行キー48を押す。なお、画像データをスマー い場合には、十字キー46の下キーを押すことにより、 トメディアに記録している期間中、次の撮影は禁止さ れ、記録処理が終了した後にスルー助画表示に戻る。

は、簡単で使い易い撮影モードであり、特別な撮影を除 【0028】オート撮影モードは、撮影状況に応じて露 出(電子シャッター値と絞り値の組合せ)と、ピントを カメラが自動的に制御するとともに、レリーズボタン2 6の全押しに応じて画像データをスマートメディアに自 いて一般的な撮影(通常撮影)を行う場合には、主とし 動的に保存するモードである。このオート撮影モード てこのモードに設定することになる。

20

ンダー接眼部52を覗いて視野の略中心に現れるAFフ レームマークを被写体に合わせて構図を決定し、レリー 5。その後、レリーズボタン26を全押しすると、この 【0029】光学ファインダーを使用する場合、ファイ ズボタン26を半押しすると、AE、AF 機能が作動す 時CCDから読み出された画像データをスマートメディ アに記録する。

[0030] 一方、液晶モニター42を使って撮影する 場合には、モードダイヤル44をオート撮影モードに合 と、液晶モニター42にスルー動画が表示され、撮影者 はこのモニター表示を見ながら構図を決定できる。構図 の決定後レリーズボタン26を押して撮影を行う動作は わせた後、表示キー62を押す。表示キー62の押す 上述の通りである。

示させた状態で、十字キー48の上キーを押すと、液晶 理が解除される。液晶モニター42を見ながら構図を決 モニター42の画面左上隅部に「×2」表示が現れ、画 面の中心点を拡大中心として、画面中央部分が2倍に拡 大される。なお、十字キー46の下キーを押すと拡大処 は、デジタルズーム(電子ズーム)撮影機能を用いるこ とができる。即ち、スルー動画を液晶モニター42に表 この拡大された画像のデータがスマートメディアに記録 【0031】また、液晶モニター42を使った撮影で 定して、レリーズボタン26を操作し、撮影を行うと、

\$

り、一コマ再生、マルチ再生(複数コマ分の画像を画面 【0032】 再生モードは、撮影済の画像を液晶モニタ -42やデレビ等に再生する時に設定するモードであ

色化)や画衆数変更(リサイズ)も可能である。このよ 5な各種機能の操作に際しては、十字キー46、メニュ 一/実行キー48及び表示キー62の組合せによって所 上に1度に同時再生する形態)、指定コマ以降を自動で - 定の時間毎に連続的に再生する自動再生 (オートブレ イ)等の形態がある。また、再生画像を電子ズームで拡 大する再生ズーム、画像データを他のメディアヘコピー する画像コピー、撮影画像の色調変更(典肌化、セピア 定の入力を行う。

【0033】モードダイヤル44を再生モードに合わせ ると、スマートメディアに記録されている最終コマが再 再生する場合には、十字キー48の左/右キーを操作し れ、左キーを1回押すと1コマ逆送りされる。この1コ を操作すると、その押圧操作に応じて、再生中の画像を 画面中心を拡大中心点として 1~4 倍の任意の倍率で拡 大して表示させることができる。この場合、上キーは拡 生され、液晶モニター42等に表示される。別のコマを る。即ち、1コマ再生中に、十字キー46の上/下キー マ再生中には、再生ズーム機能を使用することができ てコマ送りする。右キーを1回押すと1コマ個送りさ 大キーに相当し、下キーは縮小キーに相当する。

**た画像を消去するモードであり、メニュー選択画面に従** - / 実行キー48でその指示を確定することにより、1 を行うことができる。プロテクトモードは、撮影した画 像を誤って消去してしまわないように、画像データを説 み出し専用 (リードオンリー) データにするモードであ トの解除、及び全コマのプロテクトの一斉解除が可能で ある。このモード下でも十字キー48で項目やコマ番号 を選択し、メニュー/実行キー48でその指示を確定す [0034] 消去モードは、スペートメディアに配縁し って、十字キー46で項目やコマ番号を選択し、メニュ コマ消去、全コマ消去、及びスマートメディアの初期化 り、1コマ毎のプロテクト(画像の保護)又はプロテク

8

が手で隠れることがなく、モニターの表示を見ながら暗 コンとを専用ケーブルで接続して両者間で画像データの **送受信を行うモードである。撮影した画像をパソコンに** アに画像を記録したり、画像を消去する時に使用するモ 62、メニュー/実行キー48 等の各操作部を簡単に換 作することができる。特に、液晶モニター42の表示内 容の切り替え・変更に関する操作部 (モードダイヤル4 4や十字キー46)を操作する際に、液晶モニター42 [0035] PCモードは、当眩電子カメラ10とバン 取り込む時、または、バソコンを使ってスマートメディ **グリップ部24 を把持した右手の親指だけでモードダイ** ヤル44、十字キー46、電腦スイッチ50、表示キー **ードである。本実施の形態に係る電子カメラによれば 実な操作を行うことができるという利点がある。** 

[0038]上配実施の形態では、モードダイヤルがカ メラ本体背面に設けられている例を説明したが、図5に

S

Fすように、本体14上面にモードダイヤル44を設け

\*したことにより、操作の流れに従って無駄の無い動きで

一連の操作を行うことができる。

|図面の簡単な説明

特開平11-331662

9

【図1】本発明の実施の形態を示す電子カメラの外観斜

【図2】図1の電子カメラを底面側から見た斜視図 【図3】図1の電子カメラの背面側斜視図

イ、LED(Tight emitting diode)ディスプレイ、ブ [0037] 更に、上記実施の形態では、電子カメラを てもよい。また、上記実施の形態では、平面表示手段と して液晶モニターを用いているが、表示手段の形態は液 晶に限らず、EL(electro luminescence)ディスプレ 例に説明したが、本発明は電子ブックや携帯情報端末な ど、平面表示手段を有する電子機器に広く適用すること ラズマディスプレイなど、様々な形態が可能である。

[図4] 本例の電子カメラを把持した様子を背面側から 【図5】本発明の他の実施の形態を示す電子カメラの要

> **電子機器によれば、機器本体の一部を把持する手の親指** によって操作可能な位置にダイヤル操作部と十字キー操 作部とを隣接して設けたので、小さいスペースに操作機 【発明の効果】以上説明したように本発明に係る携帯型 [0038]

0…電子カメラ

[符号の説明]

部斜視図 見た図

9

ができる。

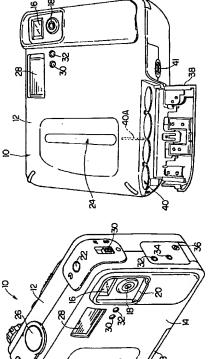
前記ダイヤル操作部と反対側に設け、ダイヤル操作部か 20 5、十字キー操作部、及び実行ポタンを順に並べて配置\* 能を集約することができ、また、片手の親指で簡単に換 [0039]特に、前記十字キー操作部で選択した内容 を確定する実行ボタンを、前記十字キー操作部を挟んで 作することができる。

44…モードダイヤル 2…外数ケーシング ↓2…液晶モニター 18…撮影フンズ 24…グリップ部 4…本体

48…メニュー/実行キー 46…十字キー

[🛛 5]

[ |<u>|</u>



BEST AVAILABLE COPY